

2020 年度  
学校関係者評価報告書

2020 年 12 月

学校法人八文字学園

 水戸看護福祉専門学校

## ■2020 年度 学校関係者報告書

学校法人八文字学園 水戸看護福祉専門学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「平成 30 年度自己点検評価報告書」(平成 31 年 2 月作成)を基本にした学校関係者評価を実施したので、下記の通り報告します。

今後も、学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、教育水準の向上、学校運営の改善、強化に取り組んで参ります。

### 1. 対象期間

2019 年 4 月 1 日～2020 年 12 月 31 日

### 2. 学校関係者評価委員

氏名	所属
高橋 裕章	介護老人保健施設みがわ(卒業生)
糸野 光弘	グループホームぐるんぱの杜(卒業生)
佐藤 和幸	障害者支援施設あいの家(保護者)
和田 哲也	和田瓦工業(保護者)
小幡 知史	障害児通所支援事業所樹の子(地域住民)
大内 理嗣	学童保育施設ひまわり学童クラブ(地域住民)
小笠原尚宏	常磐大学助教
田尻 進也	介護老人保健施設小川敬愛の杜

### 3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流



## ■基準1 教育理念・目的

---

- ・教育理念が明確に定められており、ホームページや Facebook 等で常時情報を公開している点は非常に望ましいといえる。
- ・また、国内外の社会医療福祉領域の動向に注視しながら、対人援助職として求められる人物像を検討している点も優れているといえる。

## ■基準2 学校運営

---

- ・全体計画・単年度重点計画に基づいて、教育理念の実現を目指した学校運営がなされていると判断できる。
- ・運営方針は、目的・事業計画を基に年度ごとに策定し、年度初めに全教職員対象の研修会および教育研修会で周知していると思われる。
- ・学校運営に関する組織や人事・給与に関する制度も整備されている。
- ・教育活動に関する情報公開については、個人情報保護に注意を払いつつ、パンフレットやホームページ、Facebook 等で適切になされていると判断できる。

## ■基準3 教育活動

---

- ・教育理念に沿った教育課程の編成がされており、実施方針が策定されている。
- ・修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を設定しているが、年度ごとの学力差異や個人差があり、教育成果の維持の問題があると思われる。
- ・県内外の医療機関・社会福祉施設・団体等と連携し、カリキュラム(学科概要、科目関連、シラバス)は体系的に編成されており評価できる。
- ・「学生による授業評価アンケート」の結果をふまえ、各教員が改良・工夫を重ね、さらなる質の向上を目指してほしい。
- ・医療機関・福祉施設等と連携した実習授業を行っており、実践的な職業教育について、体系的に位置づけがなされている。
- ・成績評価の基準は、学生心得の中で、わかりやすい言葉で具体的に示してあるので、周知面では十分である。また学則、教務内規およびシラバスに明記されており、それに従って運用している。
- ・目標とする資格は、カリキュラム上で、わかりやすい言葉で、できるだけ具体的に示しているため、周知の面では十分である。しかし、サポート体制については、カリキュラムの実効性の評価や時間数、教育内容など学生の状況を鑑みながら、今後改良工夫を加えていく必要がある。
- ・教員の研修については、国内外の各種学会参加および発表や専門分野の最新技術や知識についての研修参加を実施しており評価できる。

## ■基準4 学修成果

---

- ・相談室での個人指導の徹底、茨城県内を中心とした全国の求人情報の開示、担任を中心とした就職対策など、総合的な就職支援活動が展開されており、非常に評価できる。

- ・多様な目標資格を設定し、取得に対するむけた特別講座等、e-learningなどの支援策を講じており、組織的な指導体制が整備されている。
- ・不登校・退学防止のための担任による面接指導、スクールカウンセリングの充実、基礎学力の充実などに対する指導が展開されている。今後は、入学する学生の学力低下問題、学生自身の精神的な問題、学生を取り巻く家庭問題など、より複雑化する多様な問題に取り組むための支援策の検討が求められる。
- ・卒業生の社会的活躍及び評価が、SNSや彼らの所属団体との連絡体制によって概ね把握されている。卒業生に対するその後のフォローと、彼らへのキャリアパスも同様に取り組みられている（卒業生に対して、転職などの相談にも乗っている）ようで評価できる。

## ■基準5 学生支援

---

- ・担任を中心とする教員の進学・就職指導がなされており、また年度末に就職相談会などを実施しており、十分な結果がでていると評価できる。
- ・スクールカウンセラーを配置している。また、臨床心理士や精神保健福祉士の資格を有する教員らが対応しており、学生のメンタルヘルスに対する整備が充実している。
- ・一人暮らし支援制度、定期券半額負担制度、特待生入学制度（学業特待、資格特待、精勤特待、オープンキャンパス特典）、学費の分割納入など、支援する制度が整備されている。また、日本学生支援機構奨学金や国民金融公庫・県の奨学金、民間奨学金の積極的な紹介、さらに、一人暮らし支援制度による経済的支援が行われており評価できる。
- ・学校全体で行うバスハイクや国際福祉機器展見学、学園全体で行うスポーツ大会、希望者による学会活動、サークル活動、ボランティア活動等、多岐にわたる学生支援がなされている。
- ・保護者宛ての発送文書（成績、出欠状況、資格取得状況）や担任制での電話連絡、面談、家庭訪問など密に連絡し、適宜三者面談等を実施しており、学校行事や検定試験等についても、案内、連絡がなされているので充実している。
- ・高度な知識と技術と、それを裏付ける多様な資格取得を目指した教育体制が確保されている。またそのための資格と実績を有する教員が配置されている。
- ・SNSを中心した卒業後連絡や転職相談対応が行われている。さらに、高校生、社会人、実務者に対する模擬授業、講習会なども行われている。

## ■基準6 教育環境

---

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分に対応できるように整備されている。
- ・介護福祉実習、ボランティア実習、福祉施設でのアルバイトのコーディネート、その他、必要に応じた更なるインターンシップが実施されている。
- ・学生が自主的に学習するスペースとして図書室等が開放されている。
- ・防災に関する計画書および災害時の行動マニュアルが作成され、避難経路の周知や緊急避難時の連絡体制が整備されている。業者等による消防設備等の点検（年2回）や学生の傷害保険加入も実施されている。

## ■基準7 学生の受け入れ募集

---

- ・医療従事者や援助者教育の人材確保は国家的課題であり、それに伴って、学生の確保は学校運営上において最重要課題であろう。水戸看護福祉専門学校が持つメリット・魅力を高校生や保護者、高校教師、一般の人々にどのようにして訴え、惹きつけていくかが今後の課題の一つといえる。学校の実績を基本に、真実性、公平性、客観性を保ちつつ、入学希望者に対して本校の教育の取り組みや成果について適切な入学情報を提供していくことが望まれる。
- ・就職実績、資格取得実績の教育成果は正確に伝えられている。また、本校の教育内容、成果を十分理解できるように「入学案内」や「ホームページ」、「学校見学会」、「体験入学会」、「オープンキャンパス」、さらに SNS 上などで詳細に説明されている点が評価できる。
- ・学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感を考慮し、他校の状況や経済状況から見ても、総合的に見て妥当な水準といえる。

## ■基準8 財務

---

- ・財務諸表の通り、学園の財務基盤は安定している。今後も学生数の確保を図り、継続して中長期的な財務基盤の安定に努めていくことが求められる。
- ・会計監査は、関連法規により公認会計士および監事によって適正に行われている。
- ・財務情報について、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともに、ホームページに「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」が公開されている。

## ■基準9 法令等の遵守

---

- ・県や国に関係書類を提出し運営許可を得ている。また、法令や設置基準に対しては、設置基準者が把握し遵守していると評価できる。教職員に対しては、法令の改正、新法令の制定などが発生する都度、研修会などをとおして注意を促している。
- ・「個人情報管理規定」を策定し、個人情報の適正な管理運用に努めている。日常の個人情報の取り扱いにおいては、個人情報の保護に対する意識付けを強化し、定期的な注意喚起を行うことが必要である。
- ・自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対策および改善策を検討している。
- ・自己評価結果については、「学校自己評価報告書」としてホームページ上に公開している。

## ■基準10 社会貢献・地域貢献

---

- ・キャリア形成事業として、茨城県内の福祉施設における出張講座を実施している。また、高校生への模擬授業を行っている。
- ・多様なボランティア活動およびそのための支援活動を実施している。必要に応じて教員も学生とともに参加している。

- ・職業訓練生を受け入れている。

#### ■基準 11 国際交流

---

- ・留学生の受け入れは、行っていない。

以 上



---

学校法人八文字学園 水戸看護福祉専門学校  
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-16-12

---